

眼瞼下垂症手術に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター形成外科では、「眼瞼下垂症手術後早期の腫脹を左右する因子の検索」を行うことになりました。

この研究の目的は、眼瞼下垂症手術後の患者さんの眼瞼腫脹の程度を調べて、どのような因子が影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2020年4月1日より2023年3月31日までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは形成外科で眼瞼下垂症手術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、既往歴、手術内容、術後経過、術前と術後1週間目の写真など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2024年3月

研究責任者

東京医療センター 形成外科

落合 博子

連絡先 03-3411-0111(代表)